

迫力あるデジタルサイネージで、広告効果と媒体価値が飛躍的にアップ。
商業施設としての魅力やブランド力も向上しました。



導入先

札幌駅総合開発株式会社さま

- 北海道／札幌市
- 札幌駅と直結しているJRタワーの4つの商業施設「アピア」「エスタ」「パセオ」「札幌ステラプレイス」を運営。札幌のランドマークであるJRタワーの魅力を発信しつづけている。2003年設立。



導入商品

インフォメーションディスプレイ

PN-V601 (60v型) ×64台

e-Signage (コンテンツ配信／表示システム)
ネットワーク版

- 2012年7月、JR札幌駅と市営地下鉄さっぽろ駅を結ぶ地下街の柱(南北面) 16本に60v型を縦に2台並べて設置。名称「JRタワー札幌ピラービジョン」。

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

JR札幌駅と地下鉄さっぽろ駅をつなぐ地下街の設備リニューアルに伴う環境整備の一環として、従来の電照広告の置き換えを検討。同時にJRへのエンタランスにふさわしい、新しい空間づくりを目指していました。

柱の上から下まで全面を使うことで、迫力と訴求力がアップし、広告効果が高まりました。

動画も使用でき、広告媒体としての価値も高まり、広告主へのアピール度も向上しました。

北海道の良さを感じていただける映像で空間演出もでき、施設としての魅力や価値が向上。



札幌駅総合開発株式会社
業務支援本部 事業部長
宮腰 信博さま

■ 導入の背景

環境整備の一環としてサイネージの導入を検討。広告効果の向上と北海道の玄関口にふさわしい空間づくりを目指しました。

札幌駅前通地下歩行空間の開通に伴い、JR札幌駅と地下鉄さっぽろ駅を結ぶ地下街「アピアウエストアベニュー」の整備に取り組んでいました。北海道の玄関口にふさわしい空間づくりを考えていく中で、従来の電照広告を廃止し、一体感が出るよう柱のデザインの見直しと、より広告効果が高く演出効果もあるデジタルサイネージの導入をエリア全体で展開できるように考えました。

■ 選ばれた理由

**全国のJR・駅ビルでの豊富な実績を評価。
メンテナンスのサポート体制も決め手となりました。**

柱の上から下まで全面を使うには60型相当のディスプレイを縦に2台並べる必要があり、この時点である程度機種は絞られました。さらに画質や機能面など製品としての信頼性の高さに加え、デジタルサイネージを導入している全国のJR駅ビル等にも出向いてヒアリングを重ねると、実績の豊富さ、運用や管理、メンテナンス等でもシャープの評価が高かったことが決め手になりました。

■ 導入後の効果

**広告としての訴求力が飛躍的に高まり、
媒体価値やビル自体のブランド力向上にもつながっています。**

デジタルサイネージでは訴求力の高い動画を使用できるのみならず、従来の電照広告では1カ所に1社の広告しか掲示できないのに対し、多くの広告を表示でき、スペース効率も高まりました。またコンテンツの切り替え等もネットワーク経由で一元管理できるのでメンテナンス業務も軽減されました。

さらに訪れるお客様にとって心地よい空間をご提供するための演出効果も大きく、広告媒体としての価値はもちろん、商業施設としての魅力や機能性の向上にもつながっています。

■ 今後の展望

**JR 5社のデジタルサイネージと連携し、
広く訴求力のある広告展開に期待しています。**

この7月に、JR 5社の広告を取り扱う各エージェンシーがそれぞれ管理するデジタルサイネージをネットワークで連携させ、5大都市圏のディスプレイ計275面に広告を一斉放映する広告商品を開発しました。札幌だけでなく、ネットワークシステムを利用することで広範囲にわたり、訴求力ある広告展開が可能となりました。広告として媒体価値も一層高まり、大きなビジネスチャンスにつながる期待感を抱いています。



奥の地下鉄さっぽろ駅からJR札幌駅へ南北につながる地下街に設置された「JRタワー札幌ピラービジョン」



60型を縦に2面並べた、109V型相当のマルチディスプレイ



広告の他、北海道の季節を感じさせる映像を年間を通じ放映予定